

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 北光福祉会 ゆうべつこどもスペース ばすてる（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年 10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17家庭配布	(回答者数) 9家庭
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月24日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが既にできていることや挑戦できたことに対して褒め、認める声掛けを多くし、1人1人が自信を持って生活を送ることができよう関わりや支援方法の実践。	それぞれのお子さんの現状を把握し、1人1人にあった支援目標を考える。課題や難しいことばかりではなく、既に出来ていることや出来かけていることに注目し、子どもたちを褒め、認めることを中心に支援計画を作成する。	子どもたちが更に自信を持って安心安全の生活を送ることができるよう、発達について様々な視点からの専門知識を取り入れ、それぞれのお子さんにあった支援計画や体制作りの充実を図る。
2	家族支援の取り組み。ペアレントトレーニングを用いて保護者と一緒にお子さんとの効果的なコミュニケーションの方法や子どもたちが将来必要とする社会スキルを教え、練習する方法を学んでいる。	ペアレントトレーニングでの取り組みを日常的に支援の中に取り入れ、ご家族と同じことを教え、練習する機会を保障することで、ご家族とお子さんの成長を共有することができている。	ご家族だけでなく学校や地域、関係機関の方々ともペアレントトレーニングを共有し、共通した支援を目指す。
3	事業所が町立の図書館に併設されており、町や関係機関と密に連携を図り、地域に密着した事業所作りを行うことができている。	乳幼児健診への参加。乳幼児期から地域のお子さんやご家族と定期的に関わる場を持つことが出来ている。通所しているお子さんだけでなく、地域の方々との関係構築に繋がっている。	移行支援の強化。幼児期には町や子ども園と連携しお子さんやご家族をサポートしている。就学後も同じような関係を築き、関係機関全体で高校卒業までのサポートが続けられるような仕組み作りを検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な分野の専門的知識を取り入れた支援計画の作成。利用児童1人1人の発達の状況をより細かく、様々な視点から考えることができていない。	言語聴覚士や作業療法士など専門職の職員が配置されていない。	近隣地域の資源の活用。近隣の医療機関等と連携を図り、様々な視点から助言を頂き、利用児1人1人にあった充実した支援計画の作成が必要。
2	地域住民との交流。子ども園や児童館など地域の子どもたちが多く通う施設との交流の機会が作れていない。	危機管理や感染症対策等、安心安全の環境作りを考える中で外部との交流が不足している。 現在の職員体制から外部との交流の時間が作りにくい状況。	利用児の中には、子ども園や児童館と併用して利用しているお子さんがほとんどである。情報共有から始め、それぞれの事業所の現状を知り、その地域で求められる交流の在り方を考えていく。
3	事業所での普段の取り組みや活動について、保護者、関係機関、地域住民への周知が不足している。	保護者や関係機関等に情報を発信する手段のほとんどが口頭での伝達になっている。 現場の支援の充実を1番に考えることから、保護者を含めた関係機関への周知、面談業務の時間が十分にとれていない。	周知の仕方を検討、システムの簡略化を図り事業所の活動や取り組みを日常的に発信していくことのできる仕組み作りが必要。日頃の様子が見られることで保護者も関係機関の皆さんも安心して利用することができる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ばすてる（児童発達支援）						公表日	7年 3月 26日	
							利用児童数	20名	
							回収数	9名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2		1	先生がもう少し増えたら、利用できる回数が増えるのかな	次年度に向けて職員体制が適当であるか検討させていただきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1		2	ちょっとした段差があり、バリアフリー化は、まだまだ進んでいなさそう	利用児童の安心・安全が守られる環境作りのため点検を行い、必要があればすぐに改善を図れるよう見直して参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1			居心地は良さそうだが、全体的に古い建物なので新しくなったら良い。いつもきれいで整頓されていて清潔な空間	今後も整理整頓・清潔な空間を心掛け準備にあたります。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			2			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8			1			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8			1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1		2			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1		3	こども園以外での交流はほほない	子ども園と併用して利用されているお子さんが多くいます。当事業所しか利用されていないお子さんもいるため今後、地域交流や地域資源の活用について、どのような形で実施することが望ましいのか検討させていただきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9				時間をしっかりとって丁寧に説明してくれました	今後も継続して、保護者や利用児童が安心、安全のもと利用できるような丁寧な説明を行っていき、当事業所の理解を深めて頂きます。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9				連絡帳にいつも詳しく、ばすてるでの様子を書いてくれています	今後も連絡帳や電話、面談を通して利用中の様子を知っていただき、保護者の皆様とともにお子さんの成長の共有をさせていただきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9						
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7		1	1	まだ子どもが小さいので交流の機会がない	どの保護者の皆様にも参加をして頂ける開催の方法を検討させていただきます。利用児童のご家族同士が交流を深めることのできる行事も検討させていただきます。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6			3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		1	説明は受けたが、訓練はしていないかも	避難訓練についての周知が足りていませんでした。今後は計画や実施後の状況を通信や面談を通して報告させて頂きま
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				場所、先生、大好きです	今度も引き続き、利用児童、保護者の皆様安心して通える事業所作りを心掛けて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				「ばすてる今日も楽しかった！」と言って来ています。	今後も引き続き、利用児童、保護者の皆様安心して楽しく通うことのできる事業所作りやサービスの提供を考えさせて頂きます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				いつもありがとうございます！これからもよろしくお願いします。	今後も引き続き、皆さまに満足してもらえる支援を提供できるよう、支援の振り返りを行い、再計画や改善を行い、支援の質の向上を心掛けて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぱすてる（児童発達支援）		公表日		7年 3月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	1	併設された図書館の多目的室や隣接する町の保健センターを借りて場所を確保している。	当事業所内に個別対応の支援室が増えることが望ましい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3		送迎と支援の両立が難しいことがあるため、利用人数により変動があることが望ましい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	活動ごとに場所を分けている。転倒での怪我防止のためマットを敷いて対応している。	バリアフリーの設備が整っていない箇所がある。安心安全のもと利用できる環境を整備していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		個別対応の居室を確保している。	もう1つ個別対応できる場があるとよい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1		活動の実施はプランに基づいて行い、全員が参画できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2	毎年一回配布し、保護者の皆さまの意見を把握している。	結果に基づき改善を図っている箇所もあるが、全てが改善に繋がられてはいない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1		意見交換を十分に行い、改善できているところもある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			オンライン及び参集で研修に参加することができている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			今後検討をしさらに良いアセスメントツールを作成していきたい。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			同じ活動が続かないように工夫して立案している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		朝会を実施し、その日の活動の内容や支援のポイントを共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		改善したいところや子どもの状況を言葉にして伝えられている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		必要に応じて町の保健師や子ども園の先生、医療機関と連携を図り、支援体制を整えることができています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		令和6年度においては、ペアレントトレーニングプログラムの学習会を企画・実施できた。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3			家族参加の行事はあるが、兄妹を中心とした交流の場を作れていないため検討していく。より多くの方に参加して頂くことができるよう開催日の検討を行う。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		3	月の予定表に保護者への文章を載せ、周知している。	ホームページやSNSを活用し、日頃の様子や行事等を周知していく方法を検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	図書館に併設されているため、町の人たちの目に入りやすく、交流も多い。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		3		保護者への周知が不足しているため、周知方法を検討していく。また訓練においても様々な事故や感染症等を想定して行い、緊急事態に備えていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		まだ不十分なところはあるが、実施している。	改良をしながら、最善の計画を考えていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1		保護者からの聞き取りにより、除去の対応をしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		不十分なところはあるが計画、実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		予定表にて取り組みを周知、保護者の皆様にも協力をお願いしている。	口頭での説明も行い周知を徹底していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	怪我や事故に繋がるような関わりをしないよう心掛けて支援している。	もし事故が起きてしまった場合には速やかに対応し、事業所内で共有し、改善を図っていく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3				